



文化交流館の2館からなる高梁市文化センターの管理者の募集について説明がありました。

議員からは「地域住民の文化の向上と交流の推進という設置目的は民間に託しても達成することができるとか」、「経費削減効果はどの程度の見込みか」、「募集要項を議会に示すべきではないか」と質問がありました。

これに対して教育委員会からは、「民間委託しても教育委員会が具体的な方針を出すことに変わりがないし、条例上設置目的や業務は明確になつている」、「効果はあると思うが、経費については指定管理者となる業者によって差があるので現時点では明確でない」、「募集要項の原案はできているが、議会のご意見も聞いた上で最終形を決定したい」と答えています。

と考えている」との答弁がありました。

幼児教育・保育の無償化に関する状況報告及び学童保育保護者負担金の見直しについて

幼児教育・保育の無償化について、10月1日から実施されています。そこで無償化後の状況について説明がありました。3歳から5歳の幼児教育・保育などは無償となりましたが、給食費については、高梁市では無償化以前は給食費と保育料を合わせて減免していたのに対して、無償化後は国の基準により保護者から徴収することとされたため、かえって保護者負担額が増える事例があり、個別に理解を求めたとの説明がありました。（学童保育保護者負担金の見直しについては、本誌4ページにまとめています。）



**管内視察
産業経済委員会
復旧は進んでいるのか？
現場を確認**

10月28日

産業経済委員会は西日本豪雨災害の復旧状況を調査するため、令和元年10月28日に管内行政視察を行いました。

高倉町田井肉谷地区の土石流被害箇所では、建設課と農林課から、県が約1億7000万円の事業費で治山ダム3基の整備などをし、市は約1億1000万円の事業費で林地災害復旧やがれき除去、被災家屋の解体・除去などの事業を行っています。



高倉町田井の肉谷地区



河川しゅんせつ事業残土処分場
(松原町春木地内)

して暮らせるように早く整備してほしい」、「農地に土砂と流木が流れ込んでいて作付けができない」との切実な声を聴きました。

次に松原町春木、成羽町羽山、宇治町穴田の河川しゅんせつ事業残土処分場を視察しました。市内には約10カ所が用意され約33万㎡の土砂が処分できるとのことでした。特に処分場の周辺は、ダンブカーが頻繁に通るため安全走行に努めるよう指示しているとのことでした。

ニュース

新会派「高梁政志会」を結成しました

令和元年6月議会で党派制の導入が決まったことを受けて、新会派「高梁政志会」が結成されました。メンバーは5名で、会長は倉野嗣雄議員です。

高梁市議会会派結成にあたり

志を同じくする議員の集合体として、「高梁政志会」を会派名といたしました。今後の活動としては、市の政治課題解決および市政発展ため、会派での研究・提言に努めて参ります。

高梁政志会一同



川上 修一 議員



倉野 嗣雄 議員



黒川 康司 議員



大月 健一 議員



森田 伸一 議員



**総務文教委員会
災害復興
RPAを視察**

10月30日・31日

福岡県朝倉市
熊本県宇城市

福岡県朝倉市は平成29年に豪雨で被災し、現在も復興のさなかです。朝倉市では、復興の状況や、防災の取り組みを視察しました。サイレンの鳴らし方で、現在出ている避難情報の段階を知らせたり、年間を通して出前講座を行うことで、市民の防災意識を高めるといった取り組みについて話を聞きました。

による業務のスリム化を図っています。業務を棚卸しして見える化した後、自動化できそうな部分に順次RPAを導入しており、今年度は7業務を人間に代わってコンピュータがこなしているそうです。高価なシステムのため、当初はそれほど経費削減効果は出ませんでした。自動化できる業務を増やしたことで効率的な行政運営ができるようになってきたそうです。



福岡県朝倉市での視察



熊本県宇城市での視察

(*) RPA…事務の定型作業を自動化し、パソコンで行うシステム。